

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C133	17-310	慶應義塾大学 加藤眞三
<b>題名(原題/訳)</b>		
<p>Measuring the effectiveness of in-hospital and on-base Prevent Alcohol and Risk-related Trauma in Youth (P.A.R.T.Y.) programs on reducing alcohol related harms in naval trainees: P.A.R.T.Y. Defence study protocol.</p> <p>病院内および基地における海軍訓練士のアルコール関連害を軽減するための青少年におけるアルコールおよびリスク関連外傷予防プログラム(P.A.R.T.Y.)の有効性の測定:P.A.R.T.Y. 防衛研究プロトコル。</p>		
<b>執筆者</b>		
Watterson J <sup>1,2,3</sup> , Gabbe B <sup>4</sup> , Dietze P <sup>4,5</sup> , Thompson J <sup>4,6</sup> , Oborn M <sup>7</sup> , Rosenfeld JV <sup>8,9</sup> .		
<b>掲載誌</b>		
BMC Public Health. 2017 May 2;17(1):380.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID:</b>
アルコール関連障害、 予防プログラム、 青少年、 軍人		28464810
<b>要旨</b>		
<p><b>背景</b></p> <p>オーストラリア防衛軍(ADF)訓練生におけるアルコール関連の有害事象を減らすことは優先すると認められているが、軍の設定で利用できる根拠に基づく予防プログラムはほとんどない。本研究は P.A.R.T.Y にせよ、試験するために狙いをつける。病院内、または、基地内で提供されたプログラムは ADF 訓練生の間で有害なアルコール消費を減らすことができる。</p> <p><b>方法/デザイン:</b></p> <p>本研究は一つの基地からの 953 人のロイヤル・オーストラリアの海軍訓練生が関係する 3-腕無作為対照臨床試験である。訓練生(18~30 年)は次の試験群に無作為割付けされた i. 院内 P.A.R.T.Y., ii. P.A.R.T.Y., そして、iii. 対照群。すべての群で通常例年の ADF の認識訓練を受けた。第1の評価項目は 12 ヶ月の介入後にアルコール使用障害識別テスト Alcohol Use Disorders Identification Test (AUDIT)スコアが 8 以上の参加者の比率である。第2のアウトカムは 12 ヶ月の介入後の王立オーストラリア海軍(RAN)に報告されるアルコール関連事件の数である。</p> <p><b>討論</b></p> <p>これは、軍隊における P.A.R.T.Y.プログラムの使用の最初の試験である。提案された介入が有効であると判明した場合、それは RAN 訓練生の初期教育に役立つプログラムとなる場合がある。</p> <p><b>試験登録:</b></p> <p>オーストラリアの New Zealand 臨床試験レジストリ(ANZCTR) :ACTRN12614001332617、登録の日付:18/12/2014</p>		